



# とっとり

## 第117号

# 市議会だより

編集:市議会だより編集委員会 発行:鳥取市議会 Eメール:gikai@city.tottori.tottori.jp

### 市勢メモ

平成14年7月1日現在
人口計 150,584人
男 72,850人
女 77,734人
世帯数 56,432世帯
面積 237.20km <sup>2</sup>

「釣れたでえ〜!」(千代田通寺橋付近にて)



### 6月定例会

## 竹内市長就任後初の論戦

### 一般会計44億7,784万1千円を肉付け補正

六月市議会定例会は、六月十一日から二十一日までの十一日間の会期で開かれた。市長提出の「平成十四年度一般会計補正予算」など十七議案を原案どおり可決、助役の定数を二名以内とする「鳥取市助役定数条例の制定について」を賛成少数で否決した。議員提出の「市町村合併に関する調査特別委員会の設置について」など六議案は原案どおり可決した。

また、伊藤憲男議員の辞職願が会期中の六月十八日に提出され、最終日の二十一日に本会議で許可された。

一般会計の補正額は四十四億七千七百八十四万一千円で、補正後の予算規模は五百九十八億七千五百八十四万一千円となり、前年度に対し十八億円、三・一%の増となった。特別会計及び企業会計を加えた全会計は、一千百五十八億九千四百四万二千円で、前年度に対し一・九%の減となった。

今回の補正予算は、市長選挙で骨格予算となっていた当初予算に、竹内新市長の政策的な新規事業等を肉付けしたもので、「市民のための新しい市政の実現」に向けて編成された。

具体的には、三十人学級の実施に四千四百二十三万二千元、知的障害者厚生施設等整備助成に一億一千九十九万三千元、市民談話室設置に八百六十万円、ワンストップサービスの推進に一千九百九十一万円、白兔海岸周辺整備に四億円、男女共同参画センターの設置に三千四百三十九万九千元、市町村合併推進体制整備に一千七十四万八千元、百円循環バス実験運行に三千二百一十五万円、農業生産システム確立支援事業に五億三千二百六万四千元などとなっている。

#### ※市民の皆様へ

議員各自が善中見舞状を差し出すことは、公職選挙法の規定により禁止されておりますので、御理解ください。

# 竹内市長施政方針

竹内功市長は、6月定例会の初日、提案説明に先立って市政に対する所信の一端を次のように述べました。(要旨)



6月定例会で提案説明に立つ竹内功市長

本定例会に提案した諸議案の説明に先立ち、所信の一端を述べさせていただきます。

市民の負託を受け、市長としてこれからの市政を担当することとは誠に重責であり、身の引き締まる思いです。選挙で許してきた公約の実現と、直面する諸課題の解決に向け、初心を忘れず、市民の声を十分聞きながら、誠心誠意、全力で取り組んでまいります。

## 二十一世紀の新しい地域づくり

私は第一に「二十一世紀の新しい地域づくり」を今年度からスタートさせたいと思います。鳥取市という地域が持つ自然条件、伝統文化、産業構造を踏まえ、発展の可能性をしっかりと見据え、鳥取らしさを活かした特色ある地域づくりを進めてまいります。

それには、地場産業の振興、教育・福祉の充実などに特に力を入れ地域の

環境を大切にし、自然や文化にふれあいながら、すべての市民がいきいきと暮らせる地域とすることが必要です。

こうした新しい地域づくりの実現のため、広域的な視野に立ち、東部十五市町村の連携を強化しながら、市町村合併の具体化に向けて、全力をあげて取り組んでいきます。

浄水場事業の見直しについては、「浄水施設見直し検討委員会」を早急に立ち上げるための準備を進めています。公募委員の募集は、六月十五日号の市報で広くお知らせすることにしていきます。また、水道関係の専門家の推せんを、財団法人水道技術研究センターに依頼したところでは、本事業の速やかな見直しに向けて取り組んでいるところであります。

## 市民が主役の新しい市政を

第二に、市民と市政の新たな関係の構築を図り、「市民が主役の新しい市政」の実現を目指します。

このため、広域広聴機能を一層充実し、政策形成の早い段階で情報提供を行い、十分な説明責任を果たすことのできる体制を整え、市政に対する市民参画の一層の促進を図ってまいります。

私は、助役を二人以内とする措置を講じたいと思います。市町村合併、行政改革、男女共同参画社会の実現など、直面する行政課題に的確に対応するためには必要であり、自治会はもとより、経済界や女性団体を初めとする市民各界の皆様との結びつきを緊密にし、市民ニーズを的確に把握して、市民サービスを各段に向上させるために必要だからです。



女性副市長の実現は、私の公約の一つであり、その実現のためにも必要であると考えます。ただ、市政の歴史の中で前例のないことであり、段階的に準備を整え、機が熟するのを待って、適任者を選任することが適切と考えています。

さらに、市役所内部の組織体制の整備も必要で、これは、七月一日の人事異動と併せて実現することになっています。

## ワールドカップキャンプの体験を地域づくりの力に

五月十八日から六月八日まで、ワールドカップサッカー大会に出場するエクアドル代表チームをお迎えしました。これに関する多くの報道がなされ、本市とサッカーとの関係が、広く全国に知られるところとなりました。鳥取空港国際ターミナルには、たくさんの市民がチームを出迎え、また見送りました。この間、少年サッカー教室、市民との交流会、親善試合などを通じ、チームと市民との交流が深まりました。子どもたちが一流のサッカー選手に直接出会って感激するなど、多くの市民やボランティアとして参加した若者にとっても、何物にも代え難い貴重な体験となりました。

また、在日エクアドル大使が来鳥され、今後の交流を提案されました。本市としても、このたびのキャンプを契機に、エクアドルとの交流を、無理のない形で継続していくことを検討する必要がありますと考えています。今回の経験で培った市民のエネルギーが、今後の新しい地域づくりの大きな力となるものと確信しています。

# 各会派代表質問から

◆期定例会は、竹内新市長就任最初の定例会となるため、三月定例会に続いて代表質問での開催となりました。六月十三日から休会日を除く四日間、新議会、民世会、公明党、共産党、会派21、無所属の順で市政全般について質問を行いました。(無所属の三議員は各自質問) 今号では、そのうち三十三項目について質問・答弁の要旨を掲載していきます。

## 新議会

### 代表質問

#### 橋本泰博 議員

#### 市政運営の基本姿勢

**質問** 選挙で断えた政策やスローガン等の公約を踏まえ、今後四年間の市政運営をどのように図っていくのか尋ねる。

**市長** 私の政治理念は、ひたすら市民の立場に立つ、何よりも市民生活を大切にすること、そして、まさに魅力と活力をという信念をもってしている。こうした考え方で市政運営に取り組んでいきたい。市民のための新しい市政実現に向け、市政政策コメント制度などを活用し、多くの市民の意見や要望を聞き、市民の立場に立って市政の諸課題を一つ一つ着実に解決していくことが、私に課せられた使命であると考えている。議会との関係においては、相互理解の上に立ち、オープンで建設的な議論を重ねて

いくことにより、信頼関係を築きながら進めてまいりたい。

#### 市町村合併の考え方

**質問** 市長は、県東部の一体的な発展を図るため十五市町村の合併を提議しているが、どのような考え方によるものなのか。



どんなまちになっていくのか？

**市長** 昭和の大合併以来、マイカリーの普及や情報通信の高度化等で日常生活圏が飛躍的に拡大しているが、行政境界は五十年間変化していない。また、不確実な将来展望の中、地方分権

の進展に的確に対応するためには、市町村が行政の高度化や専門化を図り、行財政基盤の強化を行うことが重要である。そのためには、東部十五市町村が合併し、県東部の一体的発展が可能な枠組みを実現することが最も望ましいと考える。そして、各市町村住民の積極的参画による住民主体の地域づくり、各市町村の特色を生かし発展させる共存共栄の地域づくり、住民の意向や地域の文化・伝統を大切にするコミュニティ重視の地域づくりの三点を基本に進めるべきと考えるものである。

#### 弥生にぎわい拠点整備見直し

**質問** 市長は、弥生にぎわい拠点整備事業について見直しをしたいと述べているが、何を問題としているのか。

**市長** 中心市街地活性化への取り組みは大変重要であり、必要な市街地整備については積極的に進めたいと考えている。そ

#### 産業廃棄物処分場計画

**質問** 小沢見に計画されている産業廃棄物処分場についての所見と、今後の対応について尋ねる。

**市長** 産業廃棄物処分場は産業活動を活性化させる上で必要不可欠な施設である。環境整備

の進め方としては、一点に集中投資するのではなく、市街地の各所で同時多発的に取り組むことが適切であると考える。こういう観点から弥生にぎわい拠点整備事業構想案を見ると、狭い敷地に住宅、公共施設、商業施設、広場、駐車場と多くの機能が盛り込まれた内容であり、また、相当な事業費を集中投資するものとなっている。中心市街地全体での位置付けをもう一度考えてみる中で、適切に推進していきたいと考えている。



弥生にぎわい拠点整備事業予定地

## 市長提出議案

〈可決されたもの〉

- 第65号 14年度鳥取市一般会計補正予算(第1号)
- 第66号 14年度鳥取市各特別会計補正予算(土地区画整理費、下水道事業費、簡易水道事業費、老人保健費、農業集落排水事業費)
- 第70号 鳥取市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例の制定
- 第73号 鳥取市高齢者世帯付住宅生活援助員派遣手数料の徴収に関する条例の一部改正
- 第74号 鳥取市改良住宅等の設置及び管理に関する条例の一部改正
- 第75号 鳥取市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正
- 第76号 低開発地域工業開発地区における固定資産税の課税免除に関する条例の廃止
- 第77号 業務委託に関する基本協定の締結
- 第78号 財産の取得
- 第79号 専決処分事項の報告及び承認
- 第82号 鳥取市助役の選任
- 〈未決されたもの〉
- 第71号 鳥取市助役定数条例の制定

理センターは、平成十三年三月に、地元の意向に配慮した東部処分事業構想を策定され、まず環境影響評価を実施し、小沢見が適地であるかどうか判断されようとしている。こうした施設は、地元を初めとする周辺住民の理解と協力が前提で成り立つ施設である。建設予定地域の住民の不安感、不信感を解消するためにも、センターと住民の皆さんとの間で十分な話し合いをしていただきたいと考えている。今後広く情報の把握に努め、この問題についての判断をしていきたい。

### 浄水場建設工事の中止

**質問** 選挙公約とはいえ、いきなり工事中止命令を出し、さらに「騒音の音がベター」という結果ありきの見直しを進める市長の政治姿勢とは。

**市長** 私は浄水場の建設工事をストップし、事業の見直しを行うことを公約に当選を果たした。市民の大多数はこれまでどおりの事業実施を望んでいないと承知をしている。このため第一段階の措置として、一日当たり一千万円を投入していた工事の進行をストップさせた。市民の意向を踏まえ、速やかに行動することが市長に課せられた責

務と確信し、緊急措置として行ったものである。浄水方法の見直しは、水道関係の専門家四人と公募した市民三人からなる検討委員会を早急に立ち上げるが、浄水方法について幅広く検討し、複数の案をできるだけ早く取りまとめたいと考えている。その後、審議会に諮るとともに、議会及び市民に十分説明しながら、遅くとも年内に納得いただける結論を得たいと考えている。決して結果ありきのみ直してはならない。

### 関連質問

#### 高見則夫議員

#### 市の機構改革と配置



新しく設けられた市民参画課

**質問** 市民が主役の行政を実現するため、各部署の配置等を含めて現行の機構をどのように

改善しようとしているのか。

**市長** 七月の定期人事異動と合わせ、広報広聴業務の充実を図るため、企画部の組織を一部改めたいと考えている。第一に広聴機能を充実するため市民参画課を、第二に秘書業務と広報業務の連携を図るため秘書広報課を、第三に男女共同参画の推進を図るため男女共同参画課を、第四に市町村合併を推進するための企画課内に市町村合併推進チームを、第五に、部をまたがる施策の調整を行う政策調整担当を設置し、横断的政策調整の機能を持たせるようにしたいと思

っている。次に、市民サービス向上のため、現在第二庁舎にある福祉関係部局を本庁舎一・二階に移動し、できる限り多くの窓口業務が本庁舎で対応できる体制にしたい。また来庁者をスムーズに案内できる体制整備も行う予定である。

#### 松本信光議員

#### カニ展示施設の内部

**質問** 果のカニ博物館計画は規模が縮小され、カニ展示施設として平成十五年夏にオープンとのことだが、その内容は、

**市長** 平成十五年夏のオープンに向けて、本市も関連施設の

整備を進めている。確かに規模は小さくなってきているが、内容を充実させていけるような働きかけを考えているところである。

#### 建設部長

カニ展示施設は賀懸西浜地区の観光拠点としての魅力を一層PRするため、カニを中心とした多様な水生生物の展示や生態系を紹介するとともに、カニ観察会や釣り方教室等のイベントを開催し、児童生徒の遠足や校外学習の拠点施設として考えられている。整備内容については、施設の建築面積六五〇㎡、芝生広場二千㎡、駐車場五千㎡などが計画されている。建物は木造平屋建て、切り妻屋根で集材材を利用した大断面構造であり、県産材を利用した木のぬくもりを感じさせる建物と聞いている。

#### 村山洋一議員

#### 変電所建設問題と住民不安

**質問** 周辺住民の建設反対理由は、場所が変更されても同様な理由で建設が困難となると予想される。住民の不安に対する対応方針を尋ねる。

**市長** 電力は市民生活や企業活動に欠かすことのできない重要なインフラである。中国電力が長期的視野に立って安定供給

※助役定数条例に関して、職務企画委員会は、次のとおり否決の理由を報告しました。

〔要旨〕委員会は、助役定数を一人以内とする条例案を否決した。これは女性副市長(助役)の実現を否定するものではないが、行政入りム化の流れに逆行しており、また、本市の規模からすると、助役は一人で十分対応できると考えられるためである。

### 議員提出議案

#### 可決されたもの

- 第6号 特別職の議員の給与に関する条例の一部改正
- 第7号 鳥取市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正
- 第8号 地方交付税の削減に反対し、地方税財源の拡充を求める意見書
- 第9号 政治倫理及び公正な入札の確立を求めるための意見書
- 第10号 第154通常国会審議中の有事関連法案に対する意見書の提出
- 第11号 市町村合併に関する調査特別委員会の設置

### 陳情と結果

#### 採択となったもの

○「国民の健康、食品の安全性を確保」するための、食品の安全に係る包括的法律(食品安全新法)制定と新行政組織設置、食品衛生法改正を

を図ろうとしていることも十分理解している。しかし、市街地に変電所が必要かどうかといった具体的なことについては、しっかりと話を聞いたうえで考えたい。変電所建設の反対理由として健康の不安、地価低下の不安、中心市街地活性化に逆行の三点が挙げられているが、どういった内容の変電所がどういう形でつくられるかによって健康や地価への影響は変わってくるのではないかと思われ、一概に言うことはできない。いずれにしても現在の計画は、まちづくりの観点から適切な場所ではないと終始申し上げている。



変電所が計画されていた商工会議所駐車場

**田中 三郎 議員**

**浄水方法の見直し**

**質問** 検討委員会は、具体的に何を見過ごしているのか。

また、新しく研究されているろ過技術もプラスしていく考えはあるのか。

**市長** 検討委員会で見直すのは、ろ過方式と規模が主な点になると思う。また、当然のことながら建設費といった点もでてくる。技術の進歩は急速に進んでおり、検討委員会ではそういう新しい技術を取り入れていく可能性もある。コストの問題についても、例えば膜ろ過方式は以前ほど高くないといったことを言われる方もあり、そうした新しい変化についても、この見直し検討委員会は反映できるものと考えている。

**河越 良二 議員**

**鳥取城建設の考え**

**質問** 鳥取城復元は、何度か検討委員会などが開かれてはいるものの、今日まで実現には至っていない。市長はどう考えるか。

**市長** 鳥取城復元を実現すべきとの提言は、いろんな方からいただいている。市民各層でそのような思いがあり、お城まつりなどの機会を通じて基金活動にも取り組んでいるということである。平成の時代でも、城の一部が復元された例は幾つもあり、可能性を検討していきたいと考えている。これまで、文化財の中から許可されないとか可能性がないとか考えてきた部分がある。こういう先入感はひとまず置いて、市の発展のため大変重要であるという理解のもと、文化庁等の行政機関に対しても働きかけていきたい。



鳥取城址

**本多 達郎 議員**

**市庁舎のバリアフリー化**

**質問** 障害者に対する本庁舎や第二庁舎のバリア対策は十分でないと感じている。取り組みはどうなっているのか。

**市長** 市庁舎のバリア対策は段階的に整備している。点字ブロック・障害者用トイレ・音声誘導装置の設置、エレベーターの障害者対応への更新といった取り組みをしている。昨年度は

庁舎裏に車椅子用のスロープを設置したが、今後もさらに点検を行い、バリア対策を要する箇所の整備を図っていきたい。なお、本庁舎一・二階のトイレは洋式トイレにし、高齢者や障害者に快適なものになるよう配慮していきたい。議場傍聴席の車椅子専用スペースの確保については、議会事務局との調整を図り実現をしていきたいと考えている。

**田中英教 議員**

**助役二人制と女性助役**

**質問** 助役二人制で一人を女性とする提案は、かえって女性には負担できないことのあるらわれとも受けとれるが。

**市長** 市民が主役の新しい市政を実現する上で、女性としての視点とか、女性の意見を取り入れるということは大変重要である。女性の副市長が実現した場合、特に女性のニーズや思いを的確に把握し、市の政策決定過程の早い段階で生かすことができるかと考える。本市は、男女共同参画社会の実現を大きな目標の一つとしているが、こうした社会の実現において、女性副市長が持つ力は大変重要なものがある。助役二人制の条例を提

求める意見書提出についての陳情

○(岩吉 那須昭美)  
地方分権の推進と自治体財政確立を求める意見書提出についての陳情

○(南町 中田博明 外一名)  
鳥取市千代テニスコートの改造に関する陳情

○(相生町 藤井省三)  
鳥取市において30人以下学級実施を求める陳情

○(美萩野 古田淑子)  
意見書採択となったもの

○第154通常国会審議中の有参院連法案に対する意見書提出についての陳情

○(南町 中田博明 外一名)  
一部採択となったもの

○(有富 松本晴之 外二名)  
意見書採択となったもの

○(有富 松本晴之 外二名)  
有参院法に反対する意見書提出についての陳情

○(田島 田江 裕)  
有参院法の立法化を行わないよう政府に求める意見書提出についての陳情

○(田島 市谷貴志子 外一名)  
一部不採択となったもの

○(有富 松本晴之 外二名)  
有参院法の適用を求め意見書提出についての陳情

○(有富 松本晴之 外二名)

案して条件整備をまず行い、その上で女性副市長の実現を図っていききたいと考えている。女性では信頼できないとか不安というだけでなく、果たす役割や意義を考え、市政の強力な展開を図るためのものである。

### 五月臨時市議会

五月二十七日臨時市議会が開かれました。内容は、次のとおりです。

▼工事請負契約の締結について

○南中学校屋内運動場増設築(建築)工事  
(原案とおりの可決)

▼教育委員会委員の同意  
○教育委員会委員  
中川 俊 陸  
吉岡温泉町六七〇

### 会派異動

五月二十八日付けで、次のとおり会派編成届が提出されました。

会派の名称  
無所属  
所属議員  
森田 紘一郎

## 民世会

代表 質問

山田幸夫 議員

市長の政治手法

質問 浄水場工事中止、水道事業管理者の辞任、職員のリポート提出など、市政が専制政治の場と化する懸念を抱く。市長の政治手法を問う。

市長 例えば、浄水場工事中止は市長の職責を果たす必要から行ったものであり、執行権の乱用ではないと考える。この問題を争点に市長選が行われ当選を果たした以上、権限の範囲内で職責を果たす責任がある。車でいえば、まず車をとめるという行為である。その後は、内容を説明しながら見直しの段階に入っていくべきものと認識している。いずれにしても執行権は責任を持って行使すべきものであり、その乱用については私も十分注意していかなければならないと思っている。

### 急進ろ過方式の取り扱い

質問 浄水方法の見直し検討委員会の場では、急進ろ過方式も選択肢の一つに入っていると解釈していいのかが。

市長 検討委員会には、安全でおいしい水を安く供給するという原則ののちとって、事業の見直しをお願いすることが基本である。特にどの方法はだめだと除外する考えではなく、幅広く検討してもらえればいいと考える。急進ろ過方式も当然比較の対象になるわけであり、検討の過程で議論になるものと思っている。

### 関連質問

西川洋々 議員

市長報酬削減等の考え方

質問 倉吉市の長谷川市長は、市長報酬十五%カット、退職金廃止、任期は二期までと表明した。この発言に対し、市長はどのような思いなのか。

市長 市長など特別職の報酬削減には、いろいろな議論があるが、今のところ削減する考えはない。市民の意見や社会情勢を考えながら柔軟に対応すべきものと考えている。退職金の廃止は全国的に見ても極めて例がないと承知しており、慎重な対応が必要であろうと考える。市長の任期は、選挙にそれぞれ臨むわけであり、一期二期だと思っ

るべきであるが、四年という単位で考えると、三期もすれば多選の域に入るといふ常識的な認識は持っている。

上田孝春 議員

高速道路の早期整備

質問 県東部圏域発展のために、高速道路は極めて重要である。早期整備は市長の選挙公約でもあるが、具体的な方策を尋ねる。



橋が通る位置を示す標識

市長 姫路島取線の早期整備には、できるだけ力の力と知恵を絞って取り組みたい。就任直後には、国土交通省、日本道路公団のトップの方に早期整備を要請した。また、今回の補正予算に盛り込んでいるシンボジウムでは、早期整備のためにはどのような取り組みが必要なのか道路公団の總裁を交えて議論して

いただきたいと考えている。平成十八年度末の完成は、現時点で確実とは言えないが、最大限の努力はしていきたい。なお、山陰自動車道島取育谷間の整備についても、平成十五年度には都市計画決定ができるよう、島取工事事務所と意思疎通を図りながら働きかけをしている。

藤原繁義 議員

新しい島取創造論とは

質問 市長は新しい島取創造論を公約に出された。島取市の将来は今のままではだめだというが、だめなものとはいったい何かを各論、政策で聞きたい。

市長 地域づくりの大きな柱は、地場産業の振興である。その手段として高速道路網の早期完成を挙げている。また、まちづくりの推進は、観光産業のためにもなり、生活環境を整えていくためにも必要不可欠な取り組みである。こうした政策にこれまでの経験を生かし、しっかりと取り組んでいきたいと思っ

### 永年勤続表彰

永年にわたり地方自治の発展に貢献したとして、全国市議会議長会及び中国市議会議長会から、次の方々が表彰されました。

#### 【全国市議会議長会】

○職員十五年以上一般表彰

- 沢根 岩 男
- 三谷 伝
- 福田 泰昌
- 伊藤 憲男
- 本多 達郎
- 山田 幸夫
- 角谷 敏男
- 渡辺 喜八郎

#### 【中国市議会議長会】

○職員十二年以上特別表彰

- 上田 孝春
- なお、六月定例会初日に、伝達式が議場で行われました。

### 委員会異動

六月定例会で、次のとおり指名されました。

#### ○中心市街地活性化に関する調査特別委員

渡辺 喜八郎(新政)

#### ○鳥取環境大学に関する調査特別委員

沢根 岩 男(新政)

## 公明党

代表 買 問

武田 えみ子 議員

議員研修と選挙責任

**質問** 市民サービス向上を目指す新たな職員研修とは。また、市の選考者が外部団体の役員に就任する場合のルール化は。

**市長** 行政コスト削減や行政サービス向上の観点から、新しくV Eという研修を取り入れたかと考えている。これは価値の向上を目的とした手法で、最近特に注目され、民間で大変普及しているものである。また、今まで明確にされていなかった退職者の就任基準だが、在職期間を六十五歳までとし、報酬額の統一も図る予定である。この方針は本年七月から施行したいと考えており、各団体で運用していただくよう協力をお願いしていきたい。

#### 水道事業審議会と検討委員会

**質問** 審議会の委員が任期切れで空席の今、なぜ検討委員会を別立てで設置するのか。早期に結論を出したいという発言と矛盾してはいないか。

**市長** 検討委員会はる過方式

や規模に関する議論が中心である。審議会は水道事業についてあらゆることを議論する場として設定され、水道施設の専門家には非常に限られた人数となっている。このため、審議会構成とは別に、見直しに適した構成の検討委員会をつくって議論していただきたいと考えている。そこで出された案をもとに、最終的な段階で審議会に諮るといって流れて進めていきたい。

### 買 問

銀杏 泰利 議員

若葉台中学校の建設予定

**質問** 後ヶ丘中でフレハブ教室が建てられたのは、若葉台中の建設を見通しての措置とも思える。どのような予定なのか。

る最大のポイントは、通学する生徒数、すなわち中学校教育を行う場として適当な学校規模となるかどうかである。現在、分離設置の母体となる後ヶ丘中の学級数の推移や国庫補助事業採択要件などを検討しているところである。具体的な建設については、津ノ井ニュータウンの居住者の動向を参考にしながら、校区審議会を開催するなどして判断していく考えである。

### 石谷 勇雄 議員

高層マンションへの行政指導

**質問** 西町四丁目の高層マンション計画に対し、地元から建設反対の要望書が提出されたとのことだが、どのような立場で行政指導をしていくのか。

**市長** 景観形成条例に基づく指導が基本であるが、周辺住民の生活等への影響という側面から、景観とは別の観点での指導はありえると思っている。大規模工事の届け出により景観審議会の意見を聞きながら指導するとともに、中高層建築物指導要綱に基づき、説明会を開催して住民の理解を得るよう指導をしていきたい。生活環境を守るという立場での指導は、こうした説明会等を通じ、住民と建築

主との関係の中で整理をされていかなければならないと考える。

### 山崎 健一 議員

地区ホームページ構築支援事業

**質問** 地域イントラネットを活用し、地区ホームページ構築支援事業が進められているとのことだが、その概要を尋ねる。



ホームページを立ちあげた美保地区公民館

**市長** 地域イントラネットが取得したホームページの一つの領域を地域に開放し、地域住民による公民館単位のホームページ作成を支援する事業である。本年七月から開始の予定だが、現在のところチラシを公民館に配布するなどPRに着手したところである。美保地区からぜひ取り組みたいとの反応がまっているが、機会あることにPRに努め、多くの地区で行われることを望んでいる。

**教員長** 新設中学校を設置す



若葉台中学校建設予定地

# 共産党

代表質問

角谷敏男 議員

水質専門委員の就任

**質問** 浄水施設の見直し検討委員会のメンバーに、千代川の水質環境や取水実験に詳しい専門家を入れるかどうか聞きたい。



千代川の取水源地付近

**市長** 専門家委員一人を、財団法人水質技術研究センターに推薦いただいた。しかし、残る三人をどういう分野の専門家にするかは、まだまだとまっている状態ではない。見直しに必要な専門分野は幾つかあるが、四名の枠を設けているので、その中で適切に決めていきたいと考える。今の段階で入れる、入れないは答えられないが、水質等の問題については、データを示

して検討するなかで議論になると理解している。

高層マンション建設と法規制

**質問** 高層マンション問題では、景観形成条例の地域指定拡大や都市計画法の用途地域変更なども検討すべきでは。

**市長** 景観形成の地域指定は、現在、久松周辺地域等の指定に向けて、地元説明会を開催している。西町四丁目も、住民の意見を十分酌み上げながら指定の可能性を検討していきたい。また、一部地域の用途地域変更や容積率見直しも今後検討していくべきものと考えている。このことは建築の基準にもかかわっており、都市計画策定委員会の場で幅広く議論を深めていくべきと考えている。

関連質問

小橋太一 議員

市民談話室の設置

**質問** 設置が予定される市民談話室には、鳥取市の情報発信の場としての機能を果たせていくことが必要と考えるが。

**市長** 市役所玄関ホールの一部をガラス張りして仕切り、給湯

機やコインコピー機を設置、職員も配置して相談の受付的な機能も果たす予定である。私も折に触れて訪れ、対話を交わしたいと思っている。スペースが限られており、情報発信を集中集約することは難しいと思うが、ある程度の窓口にはなると考える。市民参画課自身が相談窓口となるので、情報を必要とする方の相談には乗らせていただきたいと考えている。

村口英子 議員

産業廃棄物処分場の安全性

**質問** 市長は、小沢見の塵埃処分場に反対する方々に、安全なものならいいのではないかと言われたと聞く。その安全性は確信を持って言えるものか。

**市長** 市史室落成の際に、おいてになった皆さんに対し、処分場は安全でなければならぬ、安全であることが前提だということを示したところであり、現在この施設が安全かどうかについて断言することは一度もない。環境影響評価が実施され、判断がなされようとしているところである。私も、必ずきちんとした結果、あるいは施設の技術的な安全性について、十分な説明を求めたいと思っている。

# 会派21

代表質問

寺垣健二 議員

行政評価の手法

**質問** 本市でもやっとな行政評価導入の予算が計上された。今後、どの手法を取り入れるのか。

**市長** 市政改革を推進する上で行政評価システム導入は重要であると考え、六月補正に盛り込んだ。今後、積極的にこの取り組みを展開していきたい。平成十四年度はシステムの企画、施行の段階である。制度構築に際しては、事業目的の明確化、妥当性の評価、指標設定に基づく有効性と効率性の数値化等により、市民に対する説明責任を十分果たせるような手法を取り入れていきたいと考えている。

浄水方法見直しと予算規模

**質問** 浄水方法見直しは、安全でおいしくて安いだけのコンセプトでは満足できない。予算規模が示されて、初めて具体的な議論ができると思うが。

**市長** 目標となる事業費など具体的な数字を挙げるより、最小限の費用で必要最小限の浄水

施設にするにはどう考えればいいのかということを経験していただければと考える。目標となる予算の枠を示すといったことは考えていない。浄水施設だけの見直しで全部が賄えるかどうかはわからないが、少なくとも水道事業全般の見直しを通じ、水道料金を値上げしないことを方針として決意している。

関連質問

谷口 清 議員

歴史的建造物の調査

**質問** 旧岡崎邸や池内邸の調査のスケジュールと、調査結果等の情報公開についてどう考えているのか尋ねる。



旧岡崎平内邸50分の1模型

**市長** 調査は、客観的な立場で歴史的文化的な価値判断ができる資料を作成するのが目的で



ある。その内容は、建物の沿革や構成、構造形式などの事実調査、復元した場合の配置図や平面図の作成、保存や移築の事業費概算額などである。予算成立後の七月に着手し、十一月頃に結果をまとめたい。結果はもちろん公開したいと考えている。

さらに、市文化財審議会や観光資源活用懇談会等にも諮り、県とも連携をとって、貴重な建物の扱い方の対応を定めたい。

**佐々木敏一 議員**

**海の駅構想と鳥取港**

**質問** 鳥取港を活性化し、にぎわいを創出していくため、ぜひとも国土交通省が進める海の駅構想実現を期待している。市長の決意を聞きたい。

**市長** 海の駅はまだ実験的な制度であるが、中国管内のモデル港湾に三カ所が選ばれ、鳥取港もその一つとなった。鳥取港周辺はインフラ整備が進められようとしている中であり、港を核にしたにぎわいのある拠点がある海の駅といった形で形成できることを期待している。鳥取港が先進的な事例として取り上げられ、国の制度づくりにも寄与していけるよう汗をかいていきたいと考えている。

**無所属**

**各 各 買 問**

**森田敏一郎 議員**

**コンベンションビュローの設置**

**質問** 観光振興や地域活性化のためには、本市にコンベンションビュロー（大会誘致事務所）を早急に設置すべきと考えます。市長の所見は。

**市長** コンベンションビュローは、県がコンベンションの誘致を促進するため、県内全域をカバーする組織として設立している。米子に本部事務所があるが、本市も出捐金を出し運営費も助成している。事務所を本市に置くことについては、以前から検討されているが、財源や人的な問題で困難だと聞いている。本市独自のものをという考え方については、この県のビュローとの重複という点を考慮しなければならぬ。商工会議所からの提案もあり、こうした考え方も一方で詰めなければならぬが、いずれにしてもこれがすべてではない。いろいろな活動を関係の観光業界の皆さんと一体となって取り組むことにより、観光を振興させていきたいと考えている。

**上杉栄一 議員**

**スケートボード場の設置**

**質問** スケートボードは非行などマイナスイメージが強いが青少年育成の観点から、スポーツとしてのスケートボード場設置を検討してはどうか。



郡家町が昨年設置したスケートボード場

**市長** スケートボード場の建設については、若者がたむろする場所になるとか、大きな音がするといったことで設置場所が限られ、周辺住民との調整が大変だという懸念をしている。しかし、今後、愛好者や青少年育成団体等の意見を聞きながら候補地についても検討したいと考えている。一見反社会的で、行き過ぎた自己主張に見えることも、若い時代のエネルギーのあらわれである。こうしたある種の試行錯誤の中から、新しい時

代を生き抜く、あるいは形成するエネルギーを内部に形成するということもある。青少年が自分の秘めた可能性を伸ばしていくような活動をする場合、大人は少し大きい目で見て、そうした機会をつくっていくことも大事ではないかと感じている。

**藤岡喜和 議員**

**市政に取り組むの心構え**

**質問** 市長に強く求めるのは初心を忘れず、謙虚さを失わずということである。このことを肝に銘じて市政に取り組むのかどうか、心構えを伺う。

**市長** 私は市長に就任以来、市民の立場に立った新しい市政の実現に向けて、みずからの信念に基づき市政運営に努めてきた。現在までの市政運営に当たり、職員との相互理解をより深め、意思疎通、相互理解に基づく取り組みをすることを心がけている。しかし、限られた二カ月という時間の中であり、また就任早々でもあり、まだまだ十分であったとは言いがたいと感じている。今後、市長に就任したこの初心を忘れることなく、誠心誠意、全力で新しい市政の実現に努力していきたいと考えている。

**市町村合併に関する調査特別委員会を設置**

六月定例会で設置された「市町村合併に関する調査特別委員会」の委員構成は、次のとおりです。

(委員は議席順)

- 委員長 田中 英教(新政)
- 副委員長 山田 幸夫(民世)
- 小橋 太一(共産)
- 銀杏 泰利(公明)
- 寺垣 健二(21)
- 佐々木敏一(々々)
- 高見 則夫(新政)
- 松本 信光(々々)
- 村山 洋一(々々)
- 角谷 敏男(共産)
- 阿川 洋々(民世)
- 橋尾 泰博(新政)
- 河越 良二(々々)
- 武田えみ子(公明)
- 三谷 伝(新政)

**人 事**

六月定例会で同意(敬称略)

○助役(副市長)

石谷 雅文 数津一五一

六月定例会で推薦(敬称略)

○監事委員会委員

稲村 武彦 尾崎二六二  
 稲村 陽子 宮谷一九六  
 本多真理子 横枕一六〇

### 総務企画委員会

期日 四月十七日①、十九日②  
参加者 福田(一)、上杉、河西、三谷、角谷、西川、山崎、高見  
視察先 ①福井市②富山市



#### 〔視察状況〕

福井市では、社会情勢の変化に対応し、最高の市民満足度を得ることを目的とする「行政改革」、生活交通確保のための「路線バス対策」を視察しました。富山市では、市民がIT革命の恩恵を享受できるように取り組まれている「IT推進プラン」、市の事務進行状況を点検する「行政監査」を視察しました。IT推進の分野で、各小学校区に地区センター(＝本市の行政サービスセンター)が設置されるなど、先進的な取り組みが行われていました。

### 福祉環境委員会

期日 四月十五日①、十七日②  
参加者 上田、村山、田中、沢根、武田、橋尾、小橋、寺垣  
視察先 ①徳島市②田辺市



#### 〔視察状況〕

徳島市では、減量化・再資源化の推進や啓発活動を中心とする「ごみ対策」、近年急増している配偶者等からの暴力(ドメスティックバイオレンス)への対応を担当する「女性センター」を視察しました。

田辺市では、ポイ捨て防止や不法投棄対策の観点から制定された「環境美化条例」、養護老人ホーム・ケアハウス・デイサービスセンターなど五つの施設が、同じ建物内に複合的に整備されている高齢者複合福祉施設「たきの里」を視察しました。

## 各常任委員会の行政視察

### 文教経済委員会

期日 四月十五日①、十七日②  
参加者 石谷、藤縄、藤原、村口、佐々木、伊藤、森田



#### 〔視察状況〕

加古川市では、二日間で約二万人が参加し、ウォークイベントにおいて国内最高レベルの歩け歩け大会である「加古川ツリーマーチ」、今年度から実施された「学校給食の調理業務委託」について視察しました。全国最初に生涯学習都市宣言を行った掛川市では、「生涯学習運動によるまちづくり・ひとづくりの推進」、五感で楽しむ生涯学習公園として、四十種千二百本余りの果樹が栽培されている「森林果樹公園」を視察しました。

### 建設水道委員会

期日 四月二十二日①、二十四日②  
参加者 国富、河越、本多、山田、谷口、松本、銀杏



#### 〔視察状況〕

草津市では、地域社会、自然環境、伝統、文化等、地域の特性・固有性をいかす住まい方の方針を決める「住宅マスタープラン」、植物と人、水と人のふれあいをテーマとした「水生植物公園」を視察しました。

豊橋市では、「河川浄化」に関する行政側の取り組みと、ホテルのとびかう人里づくりをスローガンにしている特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラムの活動を、また自然史博物館・動物園・植物園・遊園地の四施設が一体となった「総合動植物公園」を視察しました。

### ○次回定例会のお知らせ

9月9日	開会・提案説明
10日	休会
11日	一般質問
12日	一般質問
13日	一般質問
14日	休会
15日	休会
16日	休会
17日	一般質問・質疑
18日	質疑・委員会
19日	委員会
20日	委員長報告・討論 採決・閉会

※この日程は変更になる場合があります。

### 編集委員

編集委員会に、新しく次の委員が就任されました。  
村山 洋一(新政)

### あとがき

竹内市長就任後初めての定例会で、市長の基本方針を中心に議論が交わされました。首長と議会の関係は、よく車の両輪に例えられます。よりよい市政の実現のために、議会は重要な役割を果たしています。

市民と議会とつなぐ「とっとり市議会だより」の充実のため、ご意見やご感想等がありましたら、議会事務局までお寄せください。

電話 二〇一三三四三  
FAX 二〇一三〇四九